

講座 10

石狩の農業はどう変わってきたか



石狩の農業は明治4年、本州からの入植者によりはじまりました。先人は砂地と泥炭、洪水と闘いながら石狩農業の基礎を築きました。しかし、昭和40年代以降団地造成や石狩湾新港の設置などにより石狩の農業は大きく変化しました。本講座ではその経緯を話していただき、現在の取り組み状況をバス研修で見聞いたします。

◇第1回／「生振地区の農業のあゆみと石狩市農業の新しい取り組み」

期 日／ 9月19日 (火) 10:30~12:00

講 師／吉田隆義氏 (生振在住 愛知団体入植の末裔 元石狩農業委員会委員
元石狩野菜振興協会会長)

会 場／花川北コミュニティセンター (石狩市花川北3条2丁目)

◇第2回／「代表的な作物生産に取り組む農家を訪ねて」

期 日／ 9月26日 (火) 9:00~12:30

見学場所／JAいしかりベジタブルファクトリー、ミニトマト・大根・人参等の選果作業試験農場他、高岡小池農場、JAいしかり地物市場とれのさと他

集合場所／石狩市公民館 (石狩市花川北6条1丁目42)

◆ 第2回目定員／ 40人 (申込多数の場合は規定によりカレッジ会員優先による抽選で決定)

◆ 申込締切／ 平成29年 9月5日(火) FAX・メールは土・日でも受付可能です。
電話での申し込みは平日(月~金)の9時~17時までにお願ひします。

◆ 受講料／ カレッジ会員800円・一般1,000円(全2回分)

◆ 申込み・問合せ／いしかり市民カレッジ事務局 (石狩市公民館内)

TEL/FAX : 0133-74-2249

メール : kouminkan@city.ishikari.hokkaido.jp

※ この講座は、学びのスタンプ対象講座、道民カレッジ連携講座です。

